

公成建設株式会社 VOL.434

安全衛生ニュース

発行
公成建設(株)安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

◆年度末を無災害で乗り切ろう！◆

取締役常務執行役員 土木部長 簗田 昭三

今年も年度末の寒い時期になりました。毎年同じことの繰り返しのようですが、この時期は事故が多発します。通常の安全対策に加え、凍結・積雪による転倒事故、墜落・転落事故、路面凍結によるスリップ事故といった冬季特有の事故にも注意が必要です。厳しい作業環境、作業が輻輳する時だからこそ、余裕のある作業計画を策定し、作業前には作業手順をしっかりと確認し遵守しましょう。



冬季特有の事故を防止するために 作業環境の確認を！

- ・凍結や積雪がある場合は、作業開始前に足場の安全を確認しましょう。
- ・重機に積もった雪を払いのけ、ワイパーの作動を確認しましょう。
- ・想定外の突風が吹くことがあります。梯子や足場、看板など、しっかりと固定され、ゆるみが無いことを確認しましょう。
- ・適切な暖房設備を設けましょう。一酸化炭素中毒の予防措置を講じ、消火器材を必ず備えておきましょう。

冬は交通事故の多い季節！

- ・余裕を持って出発し、スピードは控えめにしましょう。
- ・冬道は凍結や積雪によって滑り易くなります。車間距離は夏の倍以上とり、交差点へは減速して近づきましょう。
- ・悪天候や視界不良時には昼間点灯を実施しましょう。こちらの存在を知らせることも、事故防止には効果的です。
- ・雪道での急ハンドル、急加速、急ブレーキといった“急な動作は厳禁”です。

入念な防寒対策を！

- ・身体が冷えた状態では指先が思うように動かないことがあります。作業員の健康はもちろん、安全性や効率性の確保のためにも、防寒対策は重要です。
- ・防寒着の着用により身体の動きが鈍くなることがありま

す。身体のサイズにあった、ダブつきがないものを着用しましょう。

- ・重機誘導者・交通誘導員がいつもより見えにくくなる場合があります。蛍光色や発光する安全ベストを着用しましょう。

体調に注意！

- ・冬は特に高血圧や心臓病に注意が必要です。寒さを感じると体温の発散を防ごうと血管が収縮し、血圧が上昇することがあります。
- ・寒い時期には血圧のコントロールが難しくなることを認識し、高血圧症やその傾向にある方は、より注意するようにしましょう。
- ・血圧の変動が心臓発作の引き金になることがあります。心臓発作は前兆なしに突然起こることも多く、油断せず、日々の体調管理をしっかりと行いましょう。
- ・寒さで身体が委縮し、動作・感覚が鈍る事があります。作業前には血行を良くするストレッチ体操を行いましょう。

安全な作業方法を確立したうえで、作業を行いましょう

安衛法等の関係法令を遵守することはもとより、適切な保護具を着用するなど、危険作業を行うことを十分念頭においた、作業計画や施工手順を作成しましょう。作業にあたっては、計画や手順で定められた保護具・装備を着用しましょう。予定外の作業をせざるを得ない状況になったら、作業を一旦中断し、作業手順、方法、安全対策、配置などを確認し、他作業の作業主任者、作業指揮者にも周知した上で、作業に取り掛かりましょう。もし、事故が発生した場合は、速やかに作業を中止し、再発防止の検討を行いましょう。 **新年度も無事故でお願いします！**

“ご安全に！”

2月度合同パトロール

2月13日(木)13:00 より
協 力 会：(株)日本サルベージサービス、(株)田中組
安衛委員：稲垣・山本(直)・石垣・寺田・松永
以上7名で実施しました。

『寸評』 安全衛生委員会

2月度の合同パトロールは、土木現場、「木津川上粕地区堤防強化他工事」を、安全衛生協力会2名、安全衛生委員会5名の計7名で実施しました。

当日は、前日からの雨はやみましたが強風の中『重機

災害の防止、水難災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆ 木津川上粕地区堤防強化他工事

当工事は、上粕地区の護岸工事を主に、小川地区での吐出管布設から乗越舗装、北河原地区堤防道路のAs舗装工事の3箇所にて点検した現場です。当日は、上粕地区での合同パトロールを実施しました。

瀧所長より概要・進捗状況説明を受け、重点目標の「重機災害の防止、水難災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、3地区合わせて職員を含め21名でした。

工事場所：木津川市山城町椿井地先

～山城町上粕南荒堀地先

工 期：令和6年10月2日～7年3月25日(6ヶ月)

発 注 者：近畿地方整備局 淀川河川事務所

工事概要：【上粕地区】 施工延長 =220m

河川土工 盛土 =820m³

法覆護岸工 かごマット =850m²

根固め工 根固めブロック=823個

【小川地区】

吐出管・乗越防護工 =1式

アスファルト舗装工 =199m²

【北河原地区】 施工延長 =679m

アスファルト舗装工 =3,110m²

出 来 高：58.0% (1/31現在)

安全成績：労働延時間=7,792時間

休業災害0件・不休災害0件。(2/12現在)

＜良好な事項＞

① 法肩立入禁止措置

② 場内整理整頓

＜改善・点検を要する事項＞

① 玉掛けワイヤー(ナイロンスリング)の不良

② 小型発電機アースの未設置

③ 救急箱の未配置

■講評では、これから根固めブロックの設置が始まります。重量物の吊り作業となるので、人払い・合図の徹底に十分注意するよう、また、まだまだ寒い日が続きますので、健康管理にも留意するようお願いしました。

■瀧所長からは、「指摘事項は確実に是正し、残り1ヶ月余りになりましたので、完成まで作業所全員で無事故無災害を心掛けていきます。」とのコメントでした。



【木津川上粕地区堤防強化他工事】

重点実施例

『(総合評価) 後院通電線共同溝
及び道路改良工事(3工区)他2件』

土木部 土木G 工事主任 井本 辰也

本工事は、京都市建設局発注の中京区後院通六角下ル～四条通大宮の区間(L=560m)の市道において、電線共同溝及び道路改良を実施するものです。別件、京都市上下水道局より配水管布設替、下水道管布設替の2件の工事を同区間にて賜っております。また飛び地工事として中京区河原町通三条にて三条商店街周辺の改良工事を仰せついております。

現在、先行工事(1工区、2工区)の京都市上下水道局発注(配水管及び下水管)工事にて、電線共同溝を構築するスペースを設け終えたことから、本施工(電線共同溝)を鋭意施工中、3工区の作業も順次施工中であります。

施工場所である、中京区(地下鉄・JR二条駅～四条大宮駅間)及び中京区河原町通三条は幹線街路、繁華街でもあり、昼夜を問わず車・人の往来が絶える事がなく、路線バスも24時頃まで運行し、朝5時前には回送・始発が走り出すことから、交通規制等の制限が細かく定められ、施工する側にとって非常に厳しい条件下であり、工事設計の基本が「夜間作業」となっております。

必然的にお題目の重点実施項目としては、夜間の通行車両と歩行者の安全確保、近隣住民・飲食店等への配慮が重きとなります。本工事は、先行の後院通(1工区、2工区)の継続工事であるため、当社職員、協力業者の良意味でのルーティン・施工サイクルが既に確立しており、やはり施工ノウハウは大切だなぁ、と改めて痛感しております。

施工範囲・手順としては、四条通大宮から千本通三条へ上る形での作業となります。後院通沿線及び一筋・二筋入った住民や飲食店、事業所等々に対して、日々移動して行く施工箇所と、夜間の振動・騒音により与えるストレス軽減のため使用機械等の選定のみならず、作業前のビラ配りや職員・作業員・交通誘導員を含めたKY、TBMでの周知にて、周辺環境負荷を極力抑える事が肝要です。

上記の対策を講じるも、やはり当該箇所のような密集市街地内での施工は、様々な事案が発生します。地中からは突発的な不明管、図面とは異なる箇所からの老朽化

した管材、上空には標識・架空線や街灯に信号機、陸上では結構な速度で走る車や、奔放な歩行者・自転車（モペット等）、沿線店舗からの依頼・難題等々、360度のリスク・完全包囲網といった様相ですが、令和9年3月までの長丁場、作業所一丸で事故・苦情防止に心掛けて参ります。ご安全に！



【河原町通三条】



【後院通蛸薬師】



【後院通錦小路】



【後院通中京警察署前】

【後院通電線共同溝及び道路改良工事（3工区）他2件】

現場 ニュース

『新名神高速道路 城陽第一高架橋(下部工)拡幅工事』

土木部 土木G 工事所長 野澤 博之

本工事は昨年受注し、始まってまだ3ヵ月程の工事です。発注者はNEXCO西日本（西日本高速道路(株)）で工期は令和11年5月までとなります。工事内容は新名神高速道路の橋脚P1～P6の上下線12基の拡幅（その内のP1～P4については以前に当社が施工）とP5～P45までの調整池5箇所を含む高架下整備、城陽ジャンクション内の本線ランプ土工事とジャンクション内の路下整備であり、工事総延長約3kmと広範囲に渡る工事です。現在、工事場所では他工事の高速道路の上部工工事、国土交通省の国道24号線拡幅工事、京都府の府道拡幅工事・橋梁工事などが施工中で、その間を縫って当工事の施工を開始したような状態です。施工中の他工事以外にも、以前のP1～P4橋脚工事と同様に、鴻池運輸様様の敷地内での施工や、国道・市道と車道・歩道と並列した箇所やその交差点、また、JR奈良線や近鉄線の鉄道など、第三者と近接

した場所での施工、ジャンクション内においては供用中の京奈和道やランプ横での施工も今後予定しています。NEXCO西日本京都事務所では安全に対する取り決め事項が多々あり、また「安全はすべてに優先する」といったスローガンのもとに安全に対する取り組みは目を見張るものがあり、それ故の施工側の安全管理についても高いレベルを要求されますが、安全第一に、無事故無災害での工事完成を目指します。ご安全に！



【城陽JCT着工前】



【高架下着工前】



【P1～P6橋梁着工前】

【新名神高速道路 城陽第一高架橋(下部工)拡幅工事】

安 衛 コ ラ ム

『入社してから振り返って！』

土木部 土木G 工事係 中井 宥吾

初めまして。去年の4月に土木部に入社した中井宥吾です。初めの2週間ほどは本社のほうで社員研修したのち、4月の中頃から後院通りの現場に配属となりました。



初めは、現場監督としての仕事かどんなものか分からなかったのが不安もありましたが、分からない事は先輩方が分かりやすく教えてくださったので今は大分慣れてきました。

私は修成建設専門学校出身で学生の間は身内や知り合いに建築系の会社をやっている方がいたので職人として様々な職種、現場を経験させて頂いたこともあり、

体力や多少の知識は持っていたつもりだったのですが、実際に仕事してみるとわからないことだらけで、実際の監督業とはこれほどまでに大変なのだ痛感しました。そして今の現場は夜勤も多く今まで一番忙しかったからなのか、気がつけば2025年になっており、あと2ヵ月ほどで自分が2年目になると思うと、本当にあっという間に時間が過ぎていて、これまで一番1年が短く感じました。

4月から後輩が入ってくるので、今年はいよいよ一層引き締めて頑張っていきます。今年もよろしくお願いいたします。ご安全に！

重点 施策

3月安全重点施策

『建設業年度末労働災害防止強調月間』

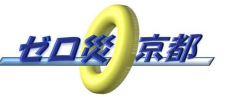
3月は、工事が完成時期を迎え繁忙度が増し、様々な作業が輻輳することなどから、焦りや不注意による不安全行動を起因とする労働災害が多発する時期です。建設現場における労働災害防止を目的として、「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定め、下記の14項目の実施項目により積極的な安全衛生活動の推進が展開されます。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施
2. 墜落・転落災害の防止
3. 建設機械・クレーン等災害の防止
4. 倒壊・崩壊災害の防止
5. 飛来・落下等による公衆災害の防止
6. 交通労働災害の防止
7. 火災・爆発等災害の防止
8. 転倒災害の防止
9. 不安全行動による災害の防止
10. 安全衛生教育の実施
11. 職業性疾病の防止
12. 化学物質管理の実施
13. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進
14. 健康阻害防止対策の実施

年度末に向けて特に多い不安全行動による労働災害は「あるべき姿」からの逸脱です。安全指導・教育で指示した内容が十分伝わってなければ意味がありません。指示した内容を日常の作業過程において実践させ、不安全行動をとったらすぐに是正させながら、「あるべき姿」を身に付けることが必要です。ご安全に！

建築部建築G

◆事務局からのお知らせ◆



■ 建設業年度末労働災害防止強調月間

期 間：3月1日～3月31日



■ 春の火災予防運動

期 間：3月1日～3月7日

スローガン：「守りたい 未来があるから 火の用心」



■ 安全衛生協会・委員会合同パトロールの予定

日 時：令和7年3月13日(木) 13:00～15:00

場 所：(仮称)ドーミー山科東野計画

協力会：(株)朝日組・河原建設工業(株)

■ 工事完成 ご苦労様でした。



【五ヶ庄地区】



【菟道地区】

【宇治川五ヶ庄地区河道掘削他工事】